

研究者紹介 私の研究

地学
研究部

鉱物科学研究グループ
みやわき りつろう

宮脇 律郎 グループ長

きどるい こうぶつ
『希土類 (レアアース) 鉱物

とペグマタイト』



国立科学博物館

鈴鹿花崗岩

私の希土類鉱物の結晶化学は、
30年前にこの地の標本から始まった

そして現在、私は再びこの地の標本と向き合うことになる



ガドリニ石
Gadolinite-(Y)
 $Y_2FeBe_2Si_2O_{10}$





苦土ローランド石
Magnesorowlandite-(Y)
 $Y_4Mg(Si_2O_7)_2F_2$





イフティシ石
Yftisite-(Y)
 $Y_7Ti(SiO_4)_2O[F,(OH)]_6$



| 研究員に聞いてみました！

1) 専門は何ですか？

結晶化学が専門です。特に、鉱物(天然無機化合物)の結晶中での希土類元素(レアアース)の性質について研究しています。

2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか？

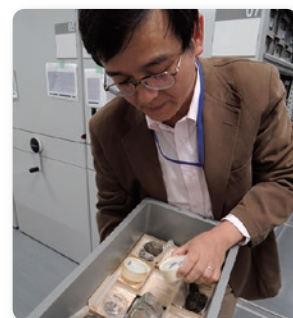
中学の理科の授業で、人工的に光合成を再現できれば、世界中のエネルギーと食糧問題の解決に繋がることを聞いて、化学に興味を持ち始めました。大学では、分析化学を専攻し、元素の特徴を鉱物に結晶に求める研究に「はまって」しまいました。

3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか？

三重県の鈴鹿花崗岩からの標本を調べたところ、希土類鉱物の新種であることが判りました。また、独立種としては抹消されてしまった別種も、今回改めて確認することができました。この産地は、学生時代に初めて学術雑誌に研究成果を発表した鉱物の産地の直ぐ近くで、なにか因縁のようなものを感じます。

4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを！

発見は楽しく素晴らしいです。でも独り占めしていたのではプロの研究者ではありません。知識を公にする努力と忍耐が必要です。



地学研究部